

病棟看護師のための 認知症ケア集中セミナー

～ 入院中のBPSD対応・コミュニケーション・薬・身体的拘束の早期解除～

認知症患者に寄り添う看護を学んで、BPSD対応の困難さを軽減!

軽度認知障害（MCI）を含めれば 65 歳以上の 4 人に 1 人が認知症またはその予備軍であると言われていた今、急性期・一般病院でも身体疾患のケアと同様に認知症のケアが求められています。今セミナーでは、認知症疾患の基本知識から BPSD への対応法、薬の知識と内服管理まで総合的にお伝えします。

日時 2019年 4月28日(日) 10:00～16:00
会場 CIVI 研修センター新大阪東
(JR 新大阪駅東口より徒歩3分)

日時 2019年 6月22日(土) 10:00～16:00
会場 CIVI 研修センター秋葉原
(JR 秋葉原駅から徒歩5分)

受講料 10,800円 (税・資料代込)

講師 鈴木 弥生 氏 大垣市民病院看護部主任
 認知症看護認定看護師

内容

1 認知症の理解

- (1) 認知症の種類と特徴
- (2) 中核症状・周辺症状(BPSD)の理解
- (3) 認知症タイプ別の基本的なケア
 - ・アルツハイマー型認知症
 - ・脳血管性認知症
 - ・レビー小体型認知症
 - ・前頭側頭型認知症

2 入院中にみられやすい高齢者の状況と環境の工夫

- (1) なぜ入院すると、認知機能や身体機能が衰える?
- (2) 入院によるストレス軽減のケアと環境の工夫
- (3) 入院すると、昼と夜が逆転するのはなぜ?
高齢者の睡眠の特徴と認知機能低下のリスク
- (4) 「大人しいのはいい患者」という勘違い
せん妄の予防的介入とアプローチ法
- (5) せん妄のリスクのある薬と副作用
- (6) 入院後、家族がだんだん面会に来なくなるのはなぜ?

3 病棟で起こりやすいBPSDの対応と工夫

- (1) 認知症ケアに対する看護の視点
- (2) 認知症を持つ人の心理と心の変化
- (3) 病棟で起こりやすいBPSDの対応法と工夫
 - ・点滴自己抜去
 - ・意欲低下
 - ・やまないナースコール
 - ・幻聴、幻視
 - ・徘徊
 - ・転倒
 - ・拒薬
 - ・拒食
 - ・相部屋で大きな声を出す
 - ・治療や処置の拒否
 - ・帰宅願望
 - ・夜間不眠
 - など実例を紹介

4 認知症タイプ別 コミュニケーションのポイント

- ・アルツハイマー型認知症
- ・脳血管性認知症
- ・レビー小体型認知症
- ・前頭側頭型認知症

5 身体的拘束の早期解除に向けたケアの工夫

- (1) 身体拘束と身体的拘束の違い
- (2) 身体的拘束は必要か?
- (3) 安易に身体的拘束をしないための、身体的拘束に代わるケアの工夫
- (4) 事例検討

6 認知症の薬の効果を知ってケアに活かす!

- (1) 認知症薬の薬剤効果の長所と短所
- (2) BPSD への薬物療法
- (3) 効果に合わせた薬の飲み方
- (4) 内服管理を行う場合の注意点



病棟看護師のための認知症ケア集中セミナー お申し込み書

FAX 084-948-0641

| | | | | | |
|-----------------|---|--------------|--|--------------|--|
| ご希望の会場に○をしてください | | 4/28(日) 大阪会場 | | 6/22(土) 東京会場 | |
| ふりがな | | TEL | | FAX | |
| 氏名 | | (自宅・勤務先) | | (自宅・勤務先) | |
| 住所 | 〒 | 携帯 | | | |
| (自宅・勤務先) | | PCメール | | | |
| 病院名 | | 職種 | | 経験年数 | |

(定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください) 上記個人情報、本件講座の管理・運営に関してのみ使用します。最少催行人数に達しない場合は中止になる場合があります。

お申し込み **日本通所ケア研究会** 〒721-0902 広島県福山市春日町浦上1205 (株) QOLサービス内 **TEL 084-971-6686**
 研究会ホームページ <https://www.tsuusho.com/> メール info@tsuusho.com **FAX 084-948-0641**